

第 19 回大規模災害時廃棄物対策北海道ブロック協議会
人材育成事業 実施結果概要

人材育成事業実施状況



ワークショップ①仮置場の運営・管理



ワークショップ②住民周知方法の検討

大規模災害時廃棄物対策北海道ブロック協議会
人材育成事業

令和 7 年 2 月 18 日 (火)

意見整理シート テーマ②-2

災害廃棄物ハンドブックに掲載する具体的な内容	
災害廃棄物の処理について	仮置場
・ルール徹底が、「スムーズな」復旧につながる点 ・災害廃棄物の処理について、通常の生活で出るごみに加えて壊れて浸水した家財道具やがれきが大量に発生する。 ・自己判断による廃棄で通常のゴミステーションに捨ててしまうと交通の妨げもつながら。 ・災害廃棄物とは、災害廃棄物とは、片付けが遅れるとどうなるか、自助・共助・公助の役割、災害によって排出されるゴミの種類	・発災時と平時の違い ・(ステーション回収でなく自己搬入メイン、搬入時の積み方も工夫) ・仮置場の設置状況は市からお知らせがあるので確認するよう周知、仮置場の運用方法 ・仮置場とは、知っておきたいポイント(場所・利用時間・時期)、受入ルール、安全対策(ヘルメット等)、主な開設場所
分別	生活ごみ
・発災時と平時の違い ・(平時との分別の違いがあること、持ち込み禁止の品があること) ・分別区分に関しては市からのお知らせを待つこと ・分別を感ると処理に時間がかかるため、可能な範囲で分別を促す ・どうして分別が必要か、主な分別の例、わかりやすく分けるコツ、出せないゴミ	・災害ごみと混入させない点 ・生活ごみは普段の生活で出るごみのことで、通常のごみステーションに捨てること ・災害時でも出続ける生活ゴミ、排出する時の注意(場所)
日頃の備え	片付けるときの注意事項
・災害ごみを搬入する場合、協力できる知友人やトラック等車両の確保など平時から確認するように呼びかける ・災害時に市からの情報が受け取れるよう準備 ・災害ゴミを見越した準備(ごみ袋、手袋、防護マスク等)、情報収集(HP、自治体アプリ)を続ける	・災害ごみの片付け、トラックへの積み出し作業の際、周辺環境に注意(倒壊の恐れのある家屋、ゆるい地面で作業しないこと、など) ・片付け時の事故の注意、道路環境の確認 ・安全第一、危険物の注意、心身のケア(熱中症等)
その他	
・自治体からの最新情報を常に把握願いたい ・分別することで一日も早い復興につながる内容を掲載 ・*道路や公園、空き地にはごみを出さないこと(その分遅れてしまうことを周知させる) ・ボランティアの活用、避難所でのゴミ対策、災害廃棄物処理計画への参加	

<意見交換>

災害廃棄物について住民の方に平時から周知させることが重要

日ごろから住民の防災意識を高める

被災後の分かりやすいマニュアルがあると役立つ